

高崎市地域福祉通信

第2回地域福祉市民会議の開催

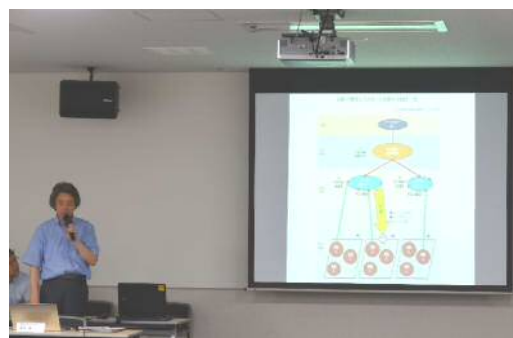
7月12日(金)午後1時30分から高崎市総合保健センター(高松町)第4会議室において、第2回地域福祉市民会議を開催し、29人の委員の方々にご出席いただきました。

当日は、アドバイザー講話、事務局説明(グループワークの進め方について)の後、委員の方々のグループ分け、自己紹介、グループワークを行い、アドバイザーに講評をいただきました。

第2回地域福祉市民会議の主な内容

●金井総括アドバイザーによる講話

- ・地域福祉計画・地域福祉活動計画は、行政と市民が協働し、一体的に策定するもの。
- ・地域福祉の推進には、地域住民だけではなく、関係団体やボランティア、法人、事業所なども一体的に取り組んでいくことが必要である。
- ・行政は、地域福祉推進の基盤づくりを進めることが必要。
- ・社会福祉協議会は、専門性を活かし、地域に出向いて地域福祉推進を支援することが必要。



アドバイザー講話の様子

●事務局説明(グループワーク(意見交換)の進め方について)

- ・第2回から第6回までの会議では、委員の方々に5つのグループに分かれていただき、各回の全体テーマに沿って、グループワークを行います。
- ・各グループには個別テーマが設定されており、テーマ別に地域が取り組むべきことについて検討し、意見交換を行います。
- ・事務局からは、各グループの担当職員として、ファシリテーターと記録係が参加します。
- ・ファシリテーターは、グループワーク全体の進行、委員の方々の意見の活性化や取りまとめを行います。
- ・記録係は、委員の方々から出された意見を記録し、その結果をまとめます。



グループワークの様子

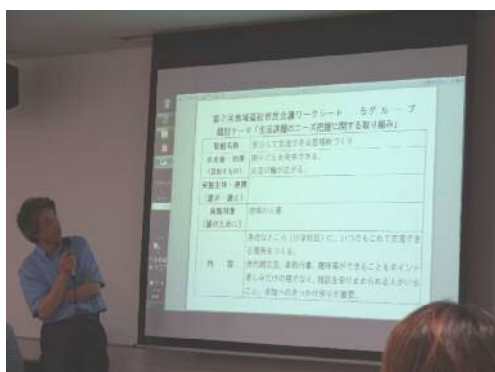
●グループワーク（意見交換）の結果について

第2回会議全体テーマ「地域で支え合い、助け合う仕組みづくり（１）」

グループNo.	個別テーマ
	グループワークでの主な意見
グループ1	買い物弱者、交通弱者解消に関する取り組み
	・地元商店と連携した地域の買い物拠点の設置 ・隣保班内のボランティアによる移動支援 など
グループ2	孤独死ゼロに向けた体制強化に関する取り組み
	・まず地域の中での孤立を防ぐことが必要 ・交流のきっかけがうまくつけれない人の支援方法を協議する など
グループ3	虐待防止に関する取り組み
	・虐待防止について学ぶ勉強会の開催 ・班単位での見守り隊の結成 など
グループ4	子ども、高齢者の見守り体制に関する取り組み
	・町内会での見守りグループの構築 ・回覧板の連絡帳的な活用 など
グループ5	生活課題のニーズ把握に関する取り組み
	・小学校区程度に情報交換もできる交流拠点を設置する ・身近な相談などからニーズを拾う仕組みの構築 など

●金井総括アドバイザーによるグループワーク講評

- ・地域福祉を推進していくためには、区長や民生委員などとの連携が重要になる。
- ・地域の課題を洗い出し、地域は何を必要としているのかを確認しておくことが必要である。
- ・第1回目のグループワークの進行としては、模造紙の活用など、概ね良かったのではないかな。
- ・地域福祉市民会議に参加している委員の方々は、それぞれの地域で地域福祉を推進するリーダーとなり、活発に意見交換を行っていただきたい。



アドバイザー講評の様子